平成30年度　事業報告

Ⅰ. 理事会 ・ 評議員会の開催

項　　目	実施計画に対する実績
◆ 理事会の開催	・ 第１回理事会（平成30年5月16日） 開催場所　ログホテル　メープルロッジ 報告事項　平成29年度 監事決算監査報告 決議事項　平成29年度事業報告の承認、平成29年度決算報告の承認 公益目的支出計画の実施報告の承認 理事の選任決議に係る評議員会の開催議案について 理事の選任について 代表理事及び業務執行理事の選任について 出 席 等　理事定数6名中出席6名、監事出席0名
	・ 第2回理事会（平成30年6月20日） 決議事項　「定款第30条第2項の規定に基づくみなし決議」 監事の選任決議に係る評議員会の開催について
	・ 第３回理事会（平成30年11月9日） 開催場所　ログホテル　メープルロッジ 報告事項　平成30年度年度一般財団法人いわみざわ地域交流センター職務の執行状況について 出 席 等　理事定数6名中出席5名、監事２名出席
	・ 第４回理事会（平成31年2月15日） 開催場所　ログホテル　メープルロッジ 報告事項　一般財団法人いわみざわ地域交流センター就業規則、臨時職員就業規則及び職員給与規程の改正について 決議事項　平成31年度一般財団法人いわみざわ地域交流センター事業計画（案）及び予算（案）について 出 席 等　理事定数6名中出席5名、監事１名出席
◆ 評議員会の開催	・ 第1回評議員会（平成30年5月16日） 開催場所　ログホテル　メープルロッジ 報告事項　平成29年度 監事決算監査報告 決議事項　平成29年度事業報告の承認、平成29年度決算報告の承認 公益目的支出計画の実施報告の承認 理事の選任について 出 席 等　評議員定数6名中出席5名、理事２名
	・ 第2回評議員会（平成30年6月25日） 決議事項　「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第１項の規定に基づくみなし決議」 監事の選任について
	・ 第3回評議員会（平成31年2月15日） 開催場所　ログホテル　メープルロッジ 決議事項　平成31年度一般財団法人いわみざわ地域交流センター事業

	計画（案）及び予算（案）について 出 席 等　　評議員定数6名中出席4名、理事２名

Ⅱ. メープルロッジ管理運営事業について

（1） ログホテル　メープルロッジの運営・管理に関する事業

項　　目	実施計画に対する実績
◆ 施設運営に関する事業	• スタンダードツインルーム7室、デラックスツインルーム6室、スイート1室、コテージ１室の計15室のほか、レストラン、大浴場（露天風呂・サウナ）、売店を備えたふるさとづくりの交流活動拠点施設。 • 露天風呂の設置やバリアフリー化による利便性や快適性を高めるとともに、地元食材にこだわったメニューや接客等 のサービスの見直し、グランピングや冬期間のアクティビティの開発に取り組みました。 • 施設利用拡大への取組 ① 市内各企業団体・町内会等のほか、札幌市及び岩見沢市近郊の市町方面の訪問営業活動の実施 ② 新企画宿泊プランの提供と各種キャンペーンの実施 ③ ＨＰのリニューアル、雑誌・ラジオ放送等広告媒体活用の強化 ④ 地元をはじめとした空知管内の食材を積極的に使用するとともに、地元食材の加工品開発への取組み • 施設利用の状況 宿泊＝7,367人　レストラン＝26,105人　日帰り入浴＝29,195人 売店＝15,485人　研修室＝247人
◆ 施設の維持管理に関する事業	• 法定点検保守関連業務 自家用電気工作物保安点検＝6回　合併処理浄化槽保守点検＝24回 受水槽清掃点検・水質検査＝1回　浴槽水水質検査＝4回 消防用設備保安点検＝機器点検1回
◆ いわみざわ地域交流センター・ふるさと毛陽　緩衝緑地等の維持管理に関する事業	• 岩見沢の東部丘陵地域に位置する「いわみざわ地域交流センター・ふるさと毛陽」は、人と自然のふれあいを大切にした都市と農村の交流の場として整備され、その中核をなすメープルロッジの敷地を「群馬川」を挟み東側は野外レクリエーションエリアで構成され、面積約201,000㎡の敷地には、芝生面積36,000㎡の緑の広場やメープルロッジを挟んだ東西両方向の緑地帯や当地区の自然に相応した緩衝緑地として、環境や景観の維持管理に努めました。

（2） スポーツ施設の運営・管理に関する事業

項　　目	実施計画に対する実績
◆ 施設運営に関する事業	• 野外交流活動の中核施設として砂入り人工芝を用いたテニスコートが2面1ユニットで２ヶ所、全てセパレートスタイルで計４面。これらに挟まれた園路向かいに、地面を掘り下げた集客数約400名のセンターコートのほか、アリーナの床全て砂入り人工芝の２面を有した通年利用の土間式屋内体育館[毛陽コロシアム]を備えたスポーツ交流施設。 • 施設利用の状況 屋外テニスコート＝　584 人 毛陽コロシアム　＝ 1,75 1人
◆ 施設の維持管理に関する事業	• 屋外テニスコート開き「4月28日」としてコート内外の整備実施。 • 法定点検保守関連業務 自家用電気工作物保安点検＝6回 消防用設備保安点検＝機器点検2回

（3） ふるさと毛陽ファンクラブに関する事業

項　　目	実施計画に対する実績
◆ ふるさと毛陽ファンクラブ事業	• 都市と農村交流による地域振興の交流拠点となる「ふるさと毛陽」を支援することを目的として、道内外から会員を募り誕生したファンクラブ。「ふるさと毛陽」の発展に繋がる交流を推進すべく、当施設利用の特典等により「ふるさと毛陽」での交流・利用の促進を図る。 • 平成31年3月31日現在の会員 個人会員＝332人 （市内在住会員＝217人、市外在住会員＝115人） 法人会員＝ 20社 （市内会員＝19社、市外会員＝1社）

Ⅲ. 果樹園管理運営事業について

項　　目	実施計画に対する実績
◆ リンゴの樹オーナー制度の実施により、都市と農村交流活動を推進する事業	• 豊かな自然環境に恵まれた、この丘陵地域の特性を活かした特産品である、「毛陽リンゴ」の木のオーナーを広く募集し、家族等がオーナー木の成長観察や収穫期のもぎ取り体験等を通して、都市と農村交流を推進するため当初より実施しておりました、「リンゴの樹のオーナー制度」は、大雪被害やその後の腐乱病の発生による収穫木の減少により、オーナー制度の維持が困難となり、平成29年度以降オーナーの募集を中止しております。 募集中止の措置は、今後若木が成木に成長して収穫木となるまでの数年間継続となります。

◆ 施設の維持管理に関する事業	• 平成２４年の記録的な大雪被害による収穫木の減少に対し、これまでに225本の苗木を植栽し、被害を受けた果樹園の補充木として育成管理を行い、果樹園の病害虫防除等を地元果樹研究会との協同により実施。また、エゾシカ等の被害に対して電気牧柵設置のほか地元丘陵地有害鳥獣対策協議会と共に当地域の有害鳥獣対策を行いながら果樹園の再生に努めました。 • 果樹園管理棟法定点検保守関連業務 自家用電気工作物保安点検＝6回　　消防用設備保守保安点検＝1回